

研究機関：広島大学

<b>研究課題名</b>
潰瘍性大腸炎の粘膜炎症評価における Linked Color Imaging (LCI) の有効性の検討
<b>研究責任者名</b> 広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中信治
<b>研究期間</b> 平成 29 年 6 月 16 日(倫理委員会承認後)～ 平成 32 年 3 月
<b>対象者</b> 2016 年 7 月 1 日～ 2019 年 3 月 31 日の間に、当科において大腸内視鏡検査を施行された、臨床的緩解期の潰瘍性大腸炎で、白色光、及び LCI で観察・撮像し、かつ、同部位から生検を施行することができた患者。
<b>意義・目的</b> LCI は赤色領域の画像処理を行うことでわずかな色の違いを強調することが可能です。そのため、軽微な炎症であっても捉えることが可能と予想されます。潰瘍性大腸炎の粘膜炎症の評価における LCI の有用性を検討します。
<b>方法</b> 本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は性別、年齢、部位、内視鏡所見、病理組織所見です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
<b>共同研究機関</b> なし
<b>試料・情報の管理責任者</b> 広島大学病院内視鏡診療科 教授 田中信治
<b>個人情報の保護について</b> 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
<b>問合せ・苦情等の窓口</b>  〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5537 広島大学病院消化器・代謝内科 クリニカルスタッフ 保田和毅